



広報

琉球

市民の友

第793号毎月1日発行
2017年(平成29年)

2月

発行 那覇市
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷 光文堂コミュニケーションズ(株)
配布 那覇市シルバー人材センター

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2016(平成28)年12月末現在	
総人口	324,157 (4,093)
男	157,318 (2,349)
女	166,839 (1,744)
世帯数	149,275 (2,835)

那覇市・福州市
友好都市35周年

600年の絆 未来へ紡ぐ

那覇市と中国・福州市が「友好都市」を結んで今年で35年。節目を記念して、城間市長をはじめ、翁長市議会議長、久米三十六姓の子孫や首里赤田町自治会などで構成する約50人の訪問団が、1月10日から3泊4日の日程で、同市を訪れました。

平和交流・男女参画課

☎861・5195



琉球墓園内

琉球人墓

大歓迎

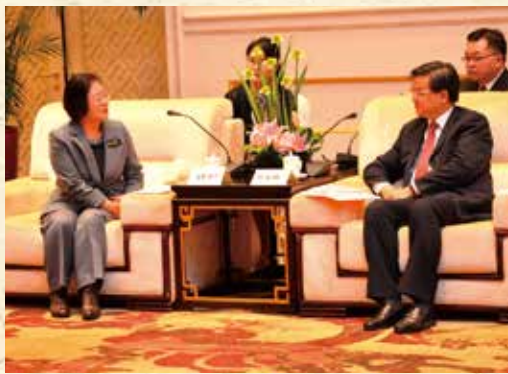
空港や祝賀会の会場など訪問団一行の行く先々には「心より歓迎」の赤い横断幕が掲げられました。マスコミの関心も高く、主要な訪問先には中国最大のテレビ局など多くの関係者が集まりました。

祝賀会において、中国共産党・福州市委員会の倪岳峰(ニー・ガクホウ)書記は「両市は新たな時代において、共に発展していきたい」と歓迎の意を表しました。

これに対し、城間市長は「今後とも両市の絆が深まり、そして強く紡がれることを心から期待しています」と祝辞を述べました。

また今回、長い友好交流の歴史が評価され、福州市の尤猛軍(ユウ・モウゲン)市長から城間市長に榮譽市民の称号が授与されました。

その他、一行は昨年全面改修された琉球館や先人が眠る琉球人墓などを訪れました。



海を越えた友情

福州市は沖縄本島の西約千キロ。位置的には台湾・基隆の対岸にあります。人口約七百五十

万人。市といっても五区、五県などからなり、総面積は約二万二千平方キロと広大です。

那覇市と福州市の友好都市締結は、1981年5月20日。しかし、沖縄との関係の始まりは、後述するように、六百年以上にさかのぼります。

締結以来、両市は文化、経済、武術、スポーツ、人材育成などの分野で交流を深めてきました。1995年からは、毎年交互に交流団を派遣する「児童生徒交流祭」を実施しています。

那覇と福州

かつて琉球王国は、海域アジア世界をまたにかけて中継貿易を展開し、繁栄していました。その範囲を見ると、北は朝鮮や日本、南はジャワやスマトラなど広大な地域に及んでいます。

なかでも中国との関係は特に深く、公的な交流は1372年に始まったとされています。当時、東アジアは足利幕府の発足、明朝の成立など、新たな政權が次々と出現した画期的な時代でした。

明朝の対外政策の特徴は、冊封・進貢体制にありました。琉球王国もその世界秩序のなかに加わり大交易を展開しましたが、その琉球の表玄関として貿易の拠点となったのが那覇であり、一方、中国側の琉球への窓口となったのが福州でした。

琉球館と久米村人

朝貢ルートの起点だった福州には、琉球から訪れる進貢使が宿泊する琉球館(正式には柔遠駅)という公的な施設がありました。一行はしばらくここに滞在して、一部の者だけが皇帝へ謁見



琉球館内

するため北京へ向かったのです。

また、冊封・進貢関係が深まるにつれ、文化交流も盛んに行われました。

向学心に燃えた琉球の青年たちは、私費留学生として福州へ渡り、数年間琉球館に滞在し、中国の先進技術や文化を学ぶことができました。

福州で学習した留学生の多くは、那覇の久米村出身者でした。後に琉球の著名な文人として日本国内でも知られる程順則などもその一人です。

今回の訪問団には、久米三十六姓にルーツを持つ「久米崇聖会」の会員23人が参加しました。初めて福州市を訪れた真栄田土郎さんは「我々の祖先がここで学び、そして琉球の発展に貢献したことを誇りに思うと同時に、今後は草の根で日中友好の一翼を担っていききたい」と語りました。

琉球館は1992年に新築され、現在、琉中交流の歴史を展示しています。

琉球人墓と赤田のみるく

さらに、琉球館は中国大陸で死去した琉球人の位牌を安置する場所でもありました。福州の各地に点在していた琉球人墓の多くは、長い時間を経て消失しました。

しかし1980年、福州市は残存する琉球人墓を市の文化財に指定し、86年には墓が集まる一帯を「琉球墓園」として整備、管理しています。

その墓園内で首里赤田町自治会のメンバーら18人による「赤田のみるく・路次楽隊」の奉納演舞が行われました。

赤田のみるくは、三百年ほど前に福州市から伝来した「みるくの掛け軸」が起源とされています。

楽隊の一人として参加した新里咲菜さんは「琉球の先輩方のご苦労をねぎらうとともに、これまでの琉球を築いてくれたことへの感謝を込めて演舞しました」と話しました。



主な紙面

- 600年の絆未来へ紡ぐ〜那覇市・福州市友好都市35周年〜……………1
- 平成29年度那覇市臨時・非常勤職員募集……………2
- 市民税・県民税兼国保税の申告・障害者控除 おむつ代控除……………3
- 違法民泊……………3
- 情報バック/博物館トピックス……………4